

令和5年度 小林市立永久津小学校 学校関係者評価書

4段階評価 4 期待以上 3 ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

学校経営
ビジョン

笑顔と思いやり、意欲あふれる永久津っ子の育成
～ 学校・家庭・地域が一体となって伝統と絆をつなぐ ～

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策等	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
知育	<p>重点目標 学力の向上を図る。 (58人、一人一人の学力向上)</p> <p>手段</p> <p>1 「わかる・できる」まで見届ける指導</p> <p>2 個に応じた指導の充実</p> <p>3 自分事として主体的・協働的に学ぶ児童の育成</p> <p>4 タブレットPCの効果的な活用</p> <p>5 授業公開による研修の充実</p> <p>6 将来を見据え、学ぶ目的を意識させた学習指導の実施</p> <p>7 交換授業の実施</p> <p>8 基本的学習習慣の確立 ・立腰・鉛筆の正しい持ち方</p>	<p>1について</p> <ul style="list-style-type: none"> 90%で高い数値で期待以上の成果であるが、支援を要する児童の手立てなど工夫する必要がある。(保護者の思い) <p>2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ぐんぐんタイムなどの時間の設定により、基礎・基本の計算力が向上した。 <p>3について</p> <ul style="list-style-type: none"> 数値的には達成できているが、児童主体の授業が十分出来ているとは言えない職員のアンケート結果からわかる。どういった姿が児童主体の授業であるのかのイメージを、しっかりと職員全員が共通理解する必要がある。 <p>4について</p> <ul style="list-style-type: none"> 参観日などを通して、児童のPC等の活用場面を見ての保護者の肯定的な意見が高い。 基本的なタブレットの活用は図られてきたが、今後、効果的な活用の充実を図る必要がある。 <p>5について</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の学力向上に関わる4つの観点(主体性・協働的な学びと習熟・個別最適な学び)全員1回ずつ研究授業を行い検証した。今後、明らかになった手立てを整理し次年度に向けての足掛かりとしていきたい。 <p>6について</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域や社会への関心がなかなか、低い実態であったが、昼の放送等や新聞の掲示などにより、関心度や興味が高まってきた。 <p>7について</p> <ul style="list-style-type: none"> 本年度、専科や複式の関係で職員の負担は増えたが、それぞれが、連携を取りながら、教科の分担を行うことで、効率的に授業を実践できた。 <p>8について</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童はできている意識は高いが、職員は特に、立腰指導が徹底できていないように感じている。鉛筆の持ち方については、低学年で徹底させる。家庭との連携も図る。 	3.3	3.4	<p>○ぐんぐんタイムの設定による成果が出ているようです。</p> <p>○タブレットの有効利活用をお願いします。</p> <p>○長期欠席(3日以上)の場合、オンライン授業の環境整備を行い、1日1時間でも行ってほしい。</p> <p>○タブレットやPCの活用は今の時代欠かせないものになっていますが、子どもたちに効果的に活用させるためにも学校、家庭での指導、取り決めが必要だと思います。継続した取組が必要ですね。</p> <p>○放課後子ども教室で宿題をする様子を見ていますが、左手が遊んでいます。その時は注意をしますが、一過性で終わってしまいます。授業中に気づかれたときには注意していただきますようにお願い致します。</p> <p>○放課後子ども教室の様子を見ていると、本やノートを見る際の目の位置が近い。立腰状態での学習姿勢がほしい。</p>
德育	<p>重点目標 豊かな心の育成</p> <p>手段</p> <p>1 基本的な生活習慣の定着 (あいさつ・廊下歩行・清掃)</p> <p>2 いじめ・不登校児童への対応</p> <p>3 考え議論する道徳科授業の実践</p>	<p>1について</p> <ul style="list-style-type: none"> 形式的にはできているが、時と場に応じた心のこもったあいさつまではできていない。手本等を示し、どのようなあいさつをしたらよいのか示していく。 <p>2について</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートから問題行動等を把握することができないことが多かった。アンケートの内容と実施方法を検討していく。問題行動等の経過観察について計画的に行っていく。 <p>3について</p> <ul style="list-style-type: none"> 肯定的な評価が80パーセントを超えていたので、来年度も継続して授業実践を行っていきたい。 	2.6	2.9	<p>○登校中のあいさつは出来ていないよう思う。</p> <p>○登下校時のあいさつは、大変よい。</p> <p>○いじめはなくとも、少人数クラスが多く、グループができ、それには入れないなど、子ども的には悩みが多いのではないでしょうか。</p> <p>○いじめ・不登校児童への対応について学校評価が2と低かったのは不登校が一時発生したことによる評価でしょうか。アンケートを実施して内容を考察している点は評価できます。</p>

		<p>4 読書と新聞活用の推進</p> <p>5 体験活動の推進</p>	<p>4について</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校では、読書量が増えているが、家庭では読んでいないことがわかる。また、新聞の活用ができていない。家庭学習と関連させるなど、活用の方法を検討していく。 <p>5について</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画されていた体験活動のほかにも各応募等に積極的に応募し、体験活動を行った。来年度も全学年で積極的に活用していく。 		
体 育	<p>重点目標 基礎体力の向上と頑張りぬく心の育成</p> <p>手段</p> <p>1 体力向上プランの確実な実行</p> <p>2 外遊びの促進</p> <p>3 虫歯治療率の向上</p> <p>4 欠席0日の実現</p>	<p>1について</p> <ul style="list-style-type: none"> 冬休み明けから体力テストの落ち込みのある種目について改善プログラムを実施し、2月に2回目の測定を実施する。 <p>2について</p> <ul style="list-style-type: none"> 外遊びをしている児童88%で達成できている。 自力登校93%で、おおむね達成できている。 <p>3について</p> <ul style="list-style-type: none"> むし歯治療率1月上旬現在60%。引き続き受診について対象家庭に呼びかけていく。 フッ化物洗口は、予定通り実施できている。 <p>4について</p> <ul style="list-style-type: none"> 12月22日現在で65日だが、昨年度不登校傾向だった児童の出席日数が格段に増えているため、おおむね達成できている。 	3	3. 2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力テストで50m走が男子が0との報告でしたが、各種目バラつきがあると認識しました。引き続きの学校での取組を期待します。 ○ むし歯治療に関しては、家庭でも協力していかなければと思います。 ○ むし歯治療は家庭に委ねるしかないですが、引き続きの啓発を期待します。
食 育	<p>重点目標 食に対する感謝と望ましい食習慣の育成</p> <p>手段</p> <p>1 食育指導の充実</p> <p>2 食物アレルギーへの対応</p>	<p>1について</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食に関する児童の自己評価89%と、好き嫌いせずに給食を食べることができている。 食事のマナーに対する保護者の自己評価73%で改善の余地があるので、学校保健委員会、給食だより、ほけんだより、ホームページ等を活用して更なる家庭との連携を図りたい。 教育課程に沿って各食育に関する行事を計画的に実践できている。 弁当の日を計画的に実施できた。 <p>2について</p> <ul style="list-style-type: none"> アレルギーに関する職員の自己評価100%で達成できた。 年度始めに学校薬剤師を講師に招き食物アレルギー研修を実施できた。 	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 残食が減っていることは、非常にいいことだと思います。子どもたちが調理してくださる方への感謝することが大事だと思います。 ○ 食事のマナーに対する保護者の自己評価が73%ということですが、継続して家庭との連携を期待します。 ○ 学校保健委員会、給食便り、保健便りなどを活用されているようです。